

御津高校ポスト30周年記念講演会として、現在東愛知新聞社編集部次長で活躍されている本校13回卒業生の由本裕貴氏を迎えました。

演題は「新聞業界と記者の仕事」。



由本裕貴氏は本校卒業後、大学に進学し2005年に日刊スポーツ東京本社に入社されました。

新聞記者としての取材の様子、新聞記者の一日の流れ、新聞社の収入、時間と勝負しながらの仕事の様子、有名なスポーツ選手との具体的エピソードなど、親しみやすい話を通して新聞記者の仕事の説明をしてくださいました。



新聞記者の仕事の魅力は、「世の中で起きていることを早くキャッチできる、生で事件の最前線を見ることができる」とし、新聞記者は信頼が第1であること、コミュニケーションの大切さを実感したことを教えてくれました。講演の最後に「夢は追いつけるもの、諦めなければ実現する。」の言葉を熱く語ってくれました。その言葉はまさに本校の今年度重点目標「念ずれば花ひらく」そのものだなあと感じました。

